



GLOBAL MAPPING NewsLetter 73

地球観測に関する政府間会合（GEO: Group on Earth Observations）

第 10 回プレナリー会合・閣僚サミットへの参加

鶴生川 太郎

国土地理院応用地理部環境地理課長補佐 / ISCGM 事務局



GEO 第 10 回プレナリー会合、及び閣僚サミットが 2014 年 1 月 15-17 日まで、スイス連邦ジュネーブ市で開催されました。会合はスイス連邦が主催し、およそ 90 を超える国・機関から 500 名以上が参加しました。

GEO は地球観測及びデータ共有を推進することを目的に 2005 年に設立されましたが、2015 年で 10 年の節目を迎えます。今回の会合は、これまでの 10 年の取組みを評価し、2025 年にむけたこれからの 10 年の取組みについての議論する重要なものでした。地球地図の整備は GEO タスクとして 2012-2015 の活動計画に位置づけられているため、地球地図プロジェクトの進捗を報告し GEO コミュニティでの地球地図の利活用推進を目的とし、国土地理院・ISCGM 事務局の鶴生川が会合に参加しました。

プレナリー会合では、2012-2015 年までの作業計画が改定されました。地球地図は引き続き GEO タスク（IN-02-C2 グローバルデータセット）の一部として登録されることになり、国連 GGIM との連

携を深めていくことが明記されています。また、アフリカ地域における土地被覆プロジェクトや、グローバル土地被覆データの検証プロジェクトなども立ち上げられることとなり、今後の協力が考えられる多くの取組みが進められています。

閣僚サミットにおいては、これまでの GEO の進展・達成を前向きに評価し、2025 年までの GEO のマンデートを更新することで合意しました。この結果、次回の GEO 閣僚サミットでは、国連の持続可能な開発分野への貢献を考慮した 2025 年までの新しい GEO 実施計画を議論することとなりました。最終日には、閣僚サミット参加者による GEO ジュネーブ宣言が採択され、会合は成功裏に終了しました。

また、会合期間を通して、GEO の取組に関する展示会が開催され、地球地図の整備と利活用の取組みがジャパン GEO ブースにおいて紹介されました。お昼休みに行われたジャパン GEO 特別プログラムでは、地球地図第二版土地被覆データの公開や、GGIM/GM4SD との連携など、地球地図に関する最近の動向についてショートレクチャーを行いました。参加者は地球地図の土地被覆や今後の持続可能な開発分野への貢献に関心を寄せました。

ISCGM は今後も GEO の枠組みに参加し、地球観測コミュニティとの連携も進めていきます。

災害に対する私たちが果たすべき役割について共通理解を深めた ～国連地球規模の地理空間情報管理に関する アジア太平洋地域委員会第 2 回総会の報告～

坂部 真一
国土地理院企画部国際課長



地図（Map World）の構築・バージョンアップがハイスピードであることが印象的でした。

第 1 作業部会の活動計画については、地球規模の測地参照系について、2013 - 2014 年の国連総会において、支持と責任を求める決議の確立に関する地球規模の地理空間情報管理に関する国連専門家委員会（UNCE-GGIM）の活動を支援

していくことが決議されました。そのほか、アジア太平洋地域の測地参照系について、GNSS の連続観測とデータ解析に基づき、正確な測地参照系を創設・維持すること、及びアジア太平洋地域の標高系統一プロジェクトについて、標高系の確立に向けたデータ共有と技術交流を促進することが、決議されました。

第 2 作業部会の活動計画については、効果的な災害マネジメントのためのジオポータルの開発及び運営のための技術的及び非技術的課題の明確化及び共有を行っていくことが、決議されました。

第 3 作業部会の活動計画については、場所情報（Place-Based Information）に関する能力強化について、現地情報の迅速な取得及び地理空間情報の更新、並びにウェブ／クラウドベースサービスに関するパイロットプロジェクトを継続し、トレーニングを開催することが、決議されました。

・今後の予定

次回の総会を今年 11 月にインドネシア国バリ島で開催することが決定されました。多くの方の参加を事務局として期待しています。

イラン国の首都テヘラン市で昨年 10 月 28 日～30 日、国連地球規模の地理空間情報管理に関するアジア太平洋地域委員会（UN-GGIM-AP）の第 2 回総会が開催されました。

本会合には 12 カ国から 54 名の参加があり、災害対応時の役割及びウェブマップサービスについてお互いの状況を共有し、測地・防災・場所情報に関する 3 つの作業部会の今後の活動計画について討議しました。

・本会合の報告（10/28～29）

発表セッションでは、2 つの課題について、10 カ国から各国の状況について報告がなされました。

「災害対応時の地理空間情報当局の役割」のセッションでは、災害発生時に私たちが果たすべき役割に関し、日本から東日本大震災の様々な事例が報告された他、被災地の状況把握のための無人飛行機（UAV）の活用、災害情報の共有のためのウェブマップの活用など、各国の災害対応の現状について報告がなされました。

また、「地理空間情報当局による空間情報ウェブサービスの現状」のセッションでは、中国の天

「米州地域地球地図」作業部会 汎米地理歴史協会 (PAIGH)

スザナ・アルシニエガス
汎米作業部会 2011 年～2013 年コーディネーター
susana.arciniegas@mail.igm.gob.ec



国別委員：S. アルシニエガス・軍地理院（エクアドル）、G. バランテス・ヘレディア大学（コスタリカ）、C. モレラ・国土地理院（コロンビア）、F. デニス・軍地理院（ウルグアイ）、F. ケラー・軍地理院（ウルグアイ）、J. サンチェス・軍工科大学（エクアドル）、福島芳和・ISCGM（日本）

目的

汎米地理歴史協会 (PAIGH) の空間データ基盤 (IDE) 委員会活動を支援すること。

地図の認証の諸問題について実行可能で実用的な解決法を提供するためにメンバー各国に適用できる活動や手法を決定し、大陸をカバーする一貫性のあるデータベースを作成すること。

作業部会で整備した手法の交換を促進すること。これにより経験に基づく技術的知識や空間データ基盤の文脈で地理データの有用性に関する研究を強化することができる。

「意味的側面」の文脈でデータや地理情報の相互運用性を実証すること。

各国の地理空間データ基盤の要件をもとに地球地図の統合を改善すること。

2011 年～2013 年の成果

- グループのウェブページの立ち上げ (www.mapaglobaldelasamericas.org)
- 地理レイヤに対応する地図の認証の基準に関する手法の整備－オブジェクト・カタログー地理データにアクセスするエンドユーザーのニーズを念頭においた地理データの品質管理。
- エクアドル、コロンビア、コスタリカ及びウルグアイの地理データへの手法の適用。
- 地球地図プロジェクトとエクアドル IGM(軍地理院)間での地理データの相互運用性に関するテスト。今回の件では ISCGM の技術専門家が属性をスペイン語から英語にたやすく変換し、標準をもとにする作業は実際に判読と利用の障害を取り除くことを証明した（意味的側面）。
- 各国の WMS のサービスを通じた地理データの統合テスト（有用性）。

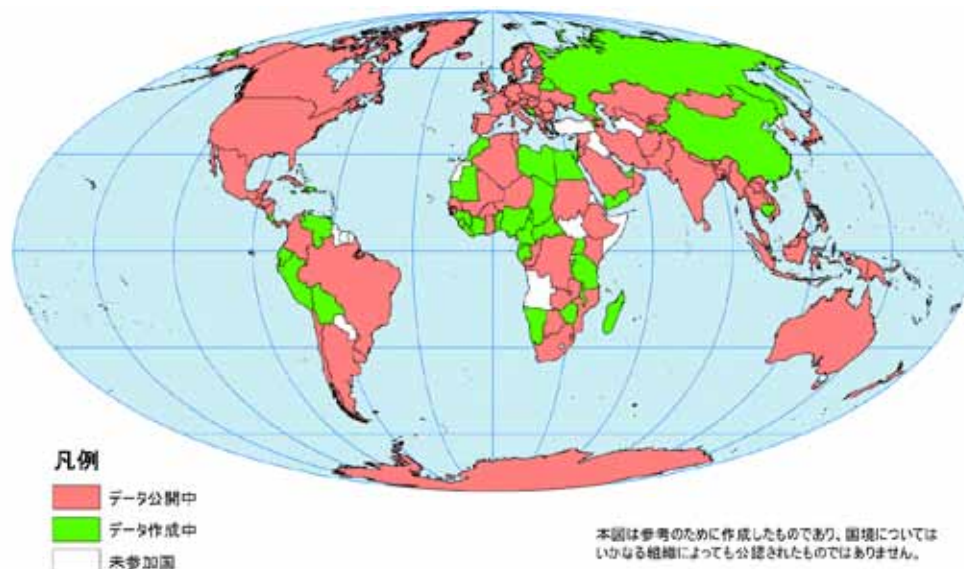
成果と利点

- 継ぎ目のない地域地図の獲得したこと。
- 地理情報を基準と認証の標準について検証し、データの統合を保証したこと。
- 公的なチャンネルによる維持・更新を確保するために、参加各国により作成された地理情報の分散管理を保証したこと。
- 地域空間データ基盤を強化したこと。
- 空間データ基盤のエンドユーザーを念頭において成果品の公開を奨励したこと。

事務局から

地球地図公開と地球地図プロジェクトへの参加

ブルンジが 2 月 25 日にプロジェクトに参加しました。それにより、現在 167 カ国 / 16 地域が地球地図プロジェクトに参加し、110 カ国 / 8 地域（うち Ver.2 を公開しているのは 69 カ国 / 4 地域）の地球地図が公開されています。



メール配信等のお知らせ

メール配信・停止ご希望の方は、氏名・住所・メールアドレスを sec@iscgm.org までお知らせください。

地球地図及び関連の会議

以下は地球地図及び関連の会合の予定です。関連の会合についての情報を歓迎します。

2014 年

- ・ 6 月 2 日～ 6 日、ベルリン、ドイツ
ISO/TC211 地理情報専門家委員会第 38 回総会
- ・ 6 月 16 日～ 21 日、クアラルンプール、マレーシア
第 25 回国際測量者連盟総会
- ・ 8 月 5 日、ニューヨーク、米国
第 21 回地球地図国際運営委員会 (ISCGM) 会合
- ・ 8 月 6 日～ 8 日、ニューヨーク、米国
第 4 回地球規模の地理空間情報管理に関する
国連専門家委員会 (UNCE-GGIM)

- ・ 11 月、バリ、インドネシア

第 3 回国連地球規模の地理空間情報管理に関する
アジア太平洋地域委員会総会
(UN-GGIM-AP)

2015 年

- ・ 5 月 17 日～ 21 日、ソフィア、ブルガリア
国際測量者連盟ワーキングウィーク 2015
- ・ 8 月 23 日～ 28 日、リオデジャネイロ、ブラジル
第 27 回国際地図学会議



NEWSLETTER は地球地図情報誌として、世界中の地理空間情報当局や地球地図データ利用者など 1,200 名以上もの多数の方々に配布されています。記事の投稿、配布の希望、関連する情報などお待ちしております。本誌の記事は、原文をそのまま掲載してあります。

編集・発行：地球地図国際運営委員会事務局

連絡先：〒305 - 0811 茨城県つくば市北郷1番 国土地理院内

Tel: 029 - 864 - 6910 Fax: 029 - 864 - 8087

ホームページ: <http://www.iscgm.org/>

E-mail: sec@iscgm.org